

秋の世田谷散策を楽しみました

駒澤大学部会
畑中 正彰(三井物産OB)

秋の長雨の合間を縫うように晴天となった10月16日(日)午後、駒澤大学の交換留学生7名と駒大部会・会員9名で秋の世田谷区内を散策しました。

この企画は、もともと毎年春来日早々の留学生に駒澤大学が所在する世田谷区をより知ってもらい、親しみをもって生活してもらいたいという願いから世田谷区内の名所旧跡を散策することから始めたもので、その秋の企画です。

今回は、等々力溪谷(とどろきけいこく)と九品仏浄真寺(くほんぶつじょうしんじ)の2カ所を訪問しましたが、在籍する交換留学生7名全員(内6名は9月来日)が参加してくれました。

当日午後1時に駒澤大学深沢キャンパスの入口に集合してもらい、当日夕方までの行程を説明後、バスで等々力に向かいました。

等々力溪谷での散策は少しゆっくり歩いて秋の溪谷を楽しみたかったのですが、久しぶりに雨の上だった日曜日午後で人も多く、前からも後ろから人が来る状態であったため、約1キロの遊歩道を一列になって歩いただけで終わったのはちょっと残念でした。

散策終了後、日本庭園内芝生広場で記念撮影し、和風お休み処雪月花にて留学生の皆さんに「あんみつ」と「ラムネ」を賞味してもらいました。「あんみつ」の“あんこ”と「ラムネ」は特に好評でした。その後等々力不動尊を経由して等々力駅から九品仏に向かいました。

九品仏浄真寺では、まず浄真寺に向かう参道から総門、山門への道のりと境内の緑の多さに日本の寺院の雰囲気を感じてくれたと思います。

境内では、下品堂(げぼんどう)、上品堂(じょうぼんどう)、中品堂(ちゅうぼんどう)の順に拝観し、それぞれのお堂の概略を理解してもらい、本堂では同寺院の開祖珂碩上人(かせきしょうにん)の自作である釈迦牟尼如来像(しゃかむににょらいぞう)を拝観しました。

拝観終了し、東門から出る際に鐘楼(しょうろう)で鐘を打つ音が聞こえ、いやが応でも寺院に来たという気持ちになれたことは幸運であったような気がします。

九品仏浄真寺拝観後、徒歩で自由が丘に向かいました。自由が丘では駅前一带が歩行者天国であったこともあり、駅前で「たこ焼き」詰合せを購入し、大阪の味を自由が丘で留学生の皆さんに賞味してもらいました。もちろん、「おいしい！おいしい！」と大好評でした。

そして、みんなで「たこ焼き」をつまんでいた時、台湾から来た留学生が隣に座っていた若い女性にあいさつしたところたまたま同じ台湾から来た別の学校の留学生だったとかのハプニングもあり最後に結構盛り上がっていました。

午後1時に駒澤大学深沢キャンパス前からスタートした今回の世田谷散策は午後4時半に自由が丘で幕を下ろし、自由が丘から駒大深沢キャンパス前行きのバス停を案内して解散しました。

今回、後期の対一交流希望交換留学生6名全員が参加してくれたことから、集合時点で学生と交流担当会員を引き合わせる事ができ、スムーズな交流をスタートさせることができたと思います。

10月16日初秋の日曜日の午後、交換留学生の皆さんには世田谷区の名所旧跡を堪能してもらえたものと思います。



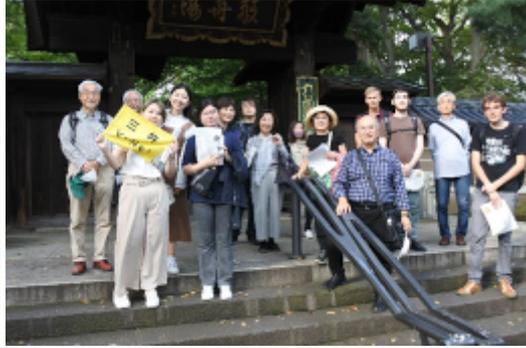
駒大国際センター前バス停



等々力溪谷にて



日本庭園内芝生広場にて



九品仏浄真寺総門前にて



九品仏浄真寺山門前にて



九品仏浄真寺鐘楼前にて